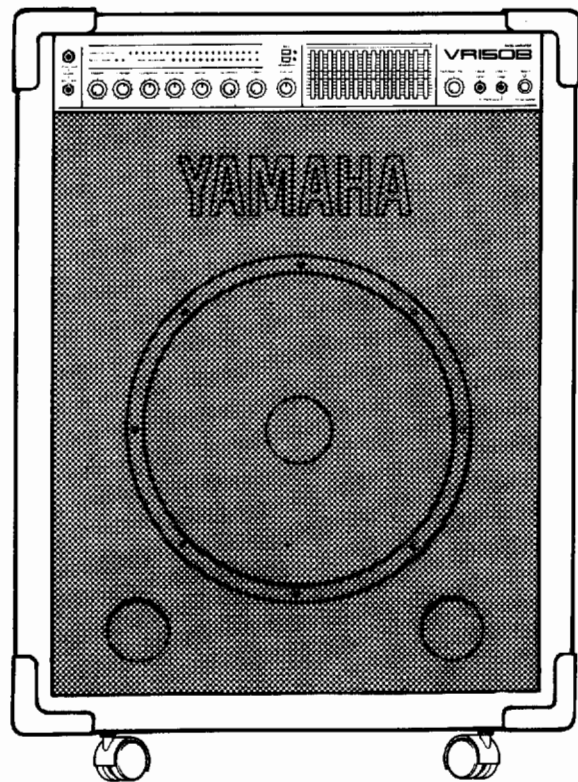


# YAMAHA



VR150B

取扱説明書

BASS AMPLIFIER

# VR75B

BASS AMPLIFIER

# VR150B

## ● ごあいさつ

このたびは、YAMAHAベースアンプリファイアVR150B/75Bをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

VR150B/75Bは、限りない可能性を秘めた新しいコンセプトのベースアンプです。2インプット&2ボリューム、トーンコントロール&グラフィックイコライザーは、あらゆるサウンドメイクに対応する機能性を備え、パワーインジケータ&オーバーロードインジケータは、スピーディで正確なセッティングを可能にしました。さらに、エフェクトループやコンプ&リミッター(VR150B)、バランスアウト端子(VR150B)をも装備しています。

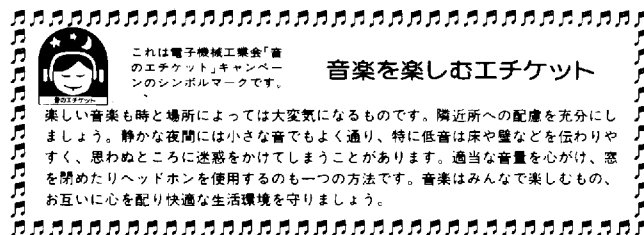
本機の優れた性能をフルに発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、お願いいたします。

## 目 次

コントロールパネル	2
サウンドメイクの手順	3
リアパネル	5
セッティングサンプル	7
仕様	8
ブロックダイアグラム	9

## ● ご注意

- ◇ 次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
  - ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど
  - ・ 温度の特に低い場所、または高い場所
  - ・ 湿気やホコリの多い場所
  - ・ 振動の多い場所
- ◇ スピーカー等の損傷を防ぐため、接続コードの脱着時や電源のON/OFF時には、MASTER VOLUMEを必ず反時計方向に回し、音量を“0”にしてください。
- ◇ 本機は日本国内仕様です。必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続して使用してください。
- ◇ ヒューズ交換の際には、必ず当社規定のものをご使用ください。
- ◇ リアパネルのAC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器には使用しないでください。
- ◇ スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。
- ◇ 物をぶつかけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- ◇ 安全のため落雷の恐れのある場合は、電源コンセントから電源プラグを抜き取ってください。
- ◇ 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは充分に離してご使用ください。
- ◇ 故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を開めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## ●コントロールパネル

### ●VR150B

一般のエレクトリックベースは、HIGH IMPジャックへ接続。

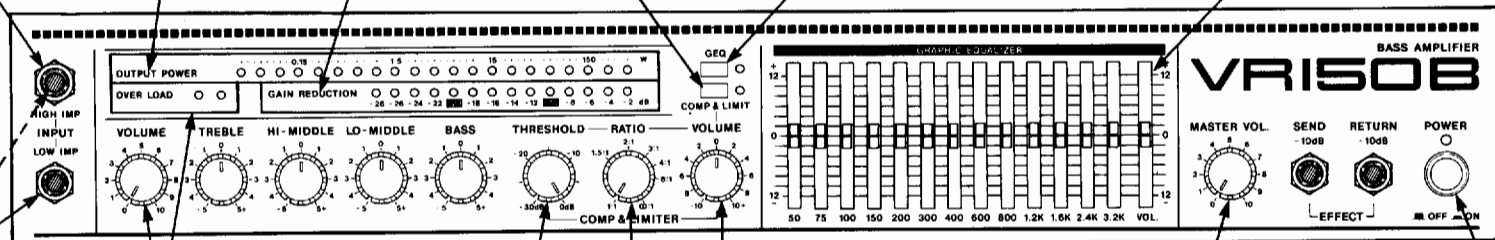
出力のレベルを表示

コンプ&リミッターの効果を表示

コンプ&リミッターのON/OFFスイッチ ON時にインジケータが点灯

グラフィックイコライザーのON/OFFスイッチ。ON時にインジケータが点灯。

グラフィックイコライザーのボリューム。GEQスイッチをON、OFFした時の音量バランスを調整。



アクティブタイプ(ローインピーダンス)ピックアップのエレクトリックベースは、LOW IMPジャックへ接続。

このインジケータを見ながらゲインを調整。

トーンをセッティングします。"0"でフラット、Q方向でカット、Q方向でブースト。

コンプ&リミッターのスレッシュホールドレベルを設定。

コンプ&リミッターのボリューム。COMP & LIMITスイッチをON、OFFした時の音量バランスを調整。

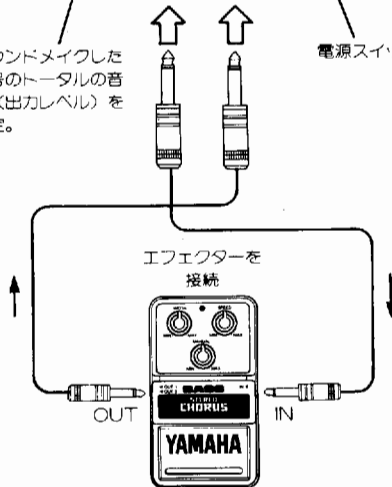
グラフィックイコライザーでキメ細かなサウンドメイクを。

サウンドメイクした信号のトータル音量(出力レベル)を設定。

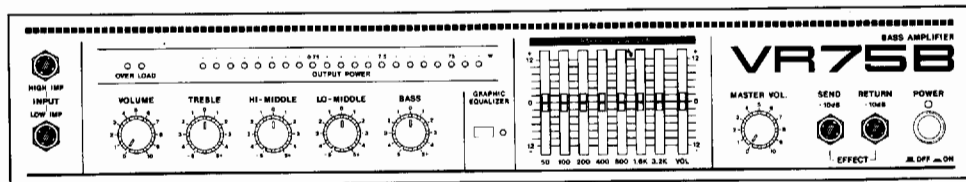
電源スイッチ



エレクトリックベース



### ●VR75B コンプ&リミッターのコントロール以外はVR150Bと同じ



## ●サウンドメイクの手順

イメージするサウンドを作り出すには、ベースギターとアンプとのマッチングから、徐々に組み立てていくことが大切です。以下の手順にそって、あなたのイメージするベースサウンドを作り上げてください。

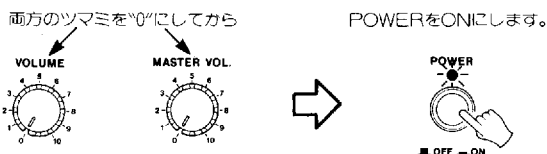
### ※電源を入れる前に

電源を入れる前に、必ずMASTER VOLUMEとVOLUMEとを“0”にしてください。

MASTER VOLUMEやVOLUMEが上がった状態で電源をON/OFFすると、スピーカーやアンプをいためる原因となります。同様に、プラグの抜き差しもMASTER VOLUMEとVOLUMEを“0”にしてから行なってください。

### 1.電源をON(■)

POWERスイッチをON(■)にします。POWERインジケーターが点灯します。

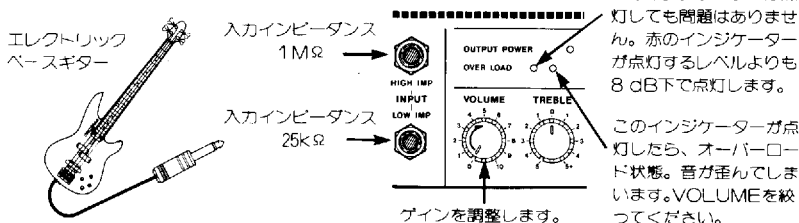


### 2.ベースギターを接続

ベースギターをアンプのINPUTジャックに接続します。一般の電気リックベース(アンプを内蔵しないピックアップをマウント)は、HIGH IMP側ジャックへ、アクティブピックアップなどのローインピーダンスの電気リックベースは、LOW IMP側又はHIGH IMP側ジャックへ接続します。

### 3.ゲインの調整

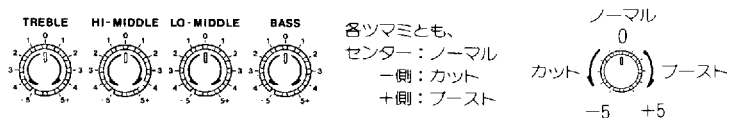
ベースギターを弾きながら、VOLUMEを回してゲイン調整をします。OVER LOADインジケーターの赤色が点灯しないレベルにVOLUMEつまみをセットしてください。



### 4.トーンセッティング

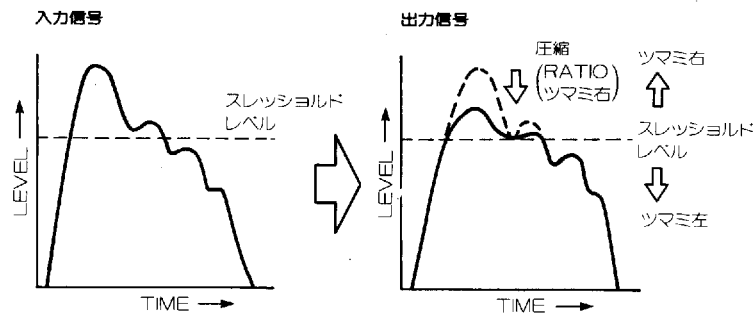
MASTER VOLUMEを適当に上げて、音を聴きながらトーンセッティングをします。ベースギターの1~4弦とTREBLE, HI-MIDDLE, LOW-MIDDLE, BASSの各コントロールとを対応させながら音を決めていくとよいでしょう。

音を聴きながらトーンセッティングします。

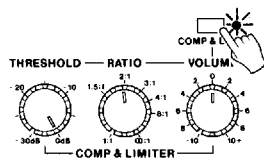


### 5.コンプ&リミッターのセッティング(VR150Bのみ)

コンプ&リミッター回路は、任意に設定したレベル(THRESHOLDつまみで設定)より大きい信号だけを圧縮(RATIOつまみで設定)して小さくするので、フィンガリングのニュアンスを損なわずに音のツブ立ちを整えたり、過大入力による歪やスピーカーの損傷を防いだりすることができます。

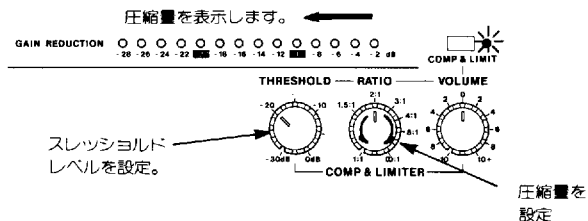


- ①まず、下図のようにツマミをセットし、COMP&LIMITスイッチをON(■)にします。



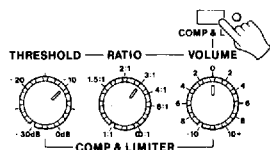
- ②ベースギターを弾きながらTHRESHOLDツマミを回し、スレッシュホルドレベルを設定します。ツマミを左(-30dB方向)へ回すほど、小さなピークでもおさえるようになります。

- ③ベースギターを弾きながらRATIOツマミを回し、圧縮比(レシオ)を設定します。ツマミを右( $\infty$ :1方向)へ回すほど圧縮比が大きくなり、コンプ&リミッター効果が強くなります。この効果の圧縮量は、GAIN REDUCTIONインジケーターに表示されますので、めやすにしてください。



- \*RATIOツマミが1:1(左いっぱい)では、THRESHOLDツマミがどの位置でもコンプ&リミッター効果はかかりません。
- \*RATIOツマミが $\infty$ :1(右いっぱい)では、どんなに大きなレベルの信号でもスレッシュホルドレベルにおさえて出力します。

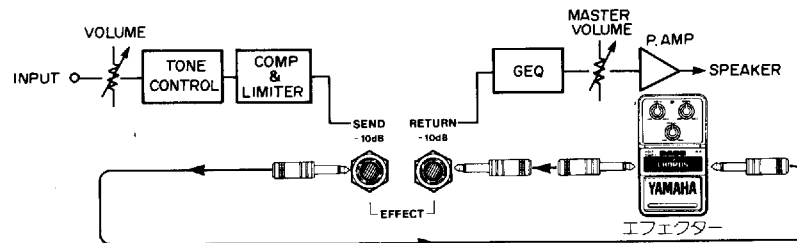
- ④COMP & LIMITスイッチのON/OFFを切り替えた時の、音量の補正をVOLUMEツマミで行なってください。



ON, OFFを切り替えた時の音量バランスを調整。

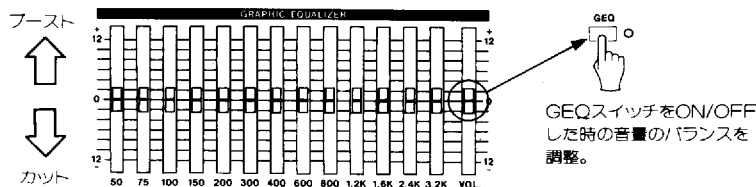
## 6. エフェクターの接続

コーラスやフランジャーなどのエフェクターを使用する場合は、フロントパネルのEFFECT SEND/RETURNジャック間に接続します。エフェクターからの信号は、V Rアンプのグラフィックイコライザーでイコライジングすることができます。



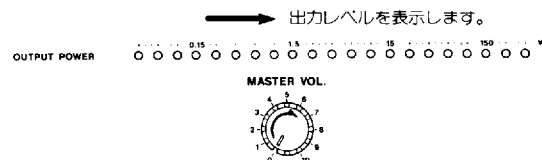
## 7. グラフィックイコライザーのセッティング

各ツマミ下部の周波数ごとに $\pm 12$ dBのブースト、カットができます。緻密なトーンセッティングの他に、ノイズやハウリングを抑えることにも使えます。セッティングができたなら、GEQスイッチのON/OFFを切り替えた時の音量の補正をVOLUMEツマミで行なってください。

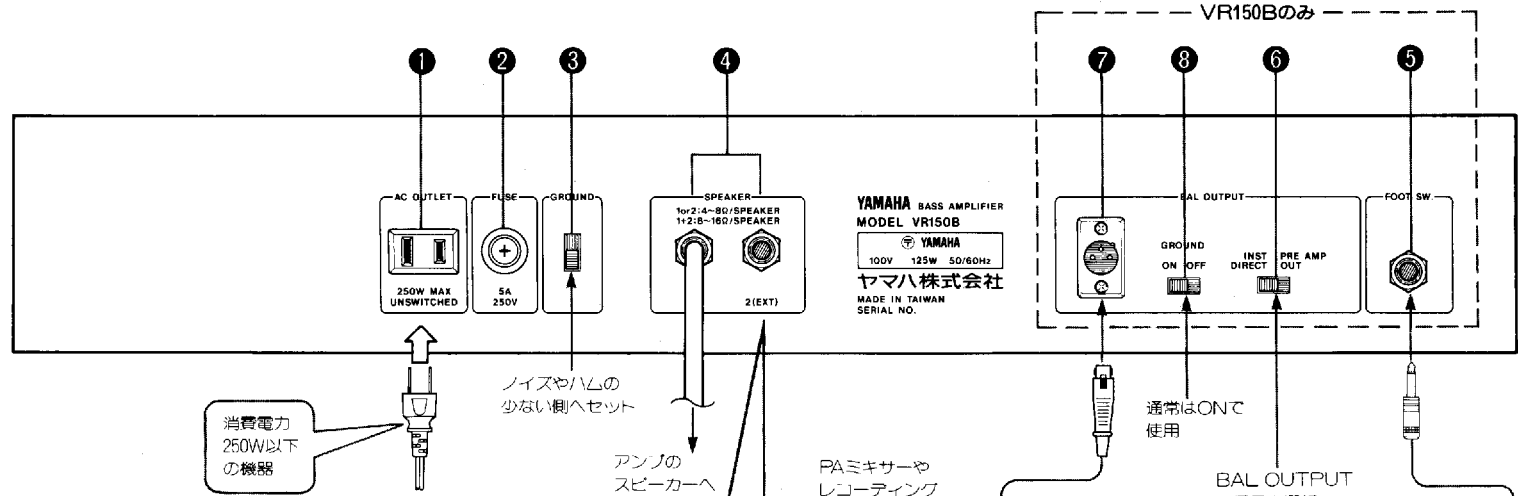


## 8. マスターボリュームの設定

イメージするサウンドが作れたら、最後に出力の音量をMASTER VOLUMEで決定します。OUTPUT POWERインジケーターが、出力のレベルを常に21個のLEDで表示しています。



# ● リアパネル



消費電力  
250W以下の  
機器

ノイズやハムの  
少ない側へセット

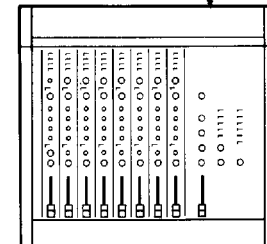
アンプの  
スピーカーへ

通常はONで  
使用

BAL OUTPUT  
の信号を選択

コンプ&リミ  
ッターのON  
/OFF

PAミキサーや  
レコーディング  
コンソール

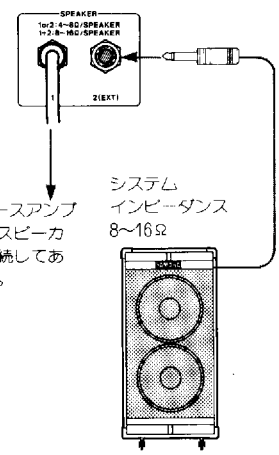


INST PRE AMP  
DIRECT OUT  
サウンドメイ  
ク前の信号が  
出力。

INST PRE AMP  
DIRECT OUT  
サウンドメイ  
クした信号が  
出力。

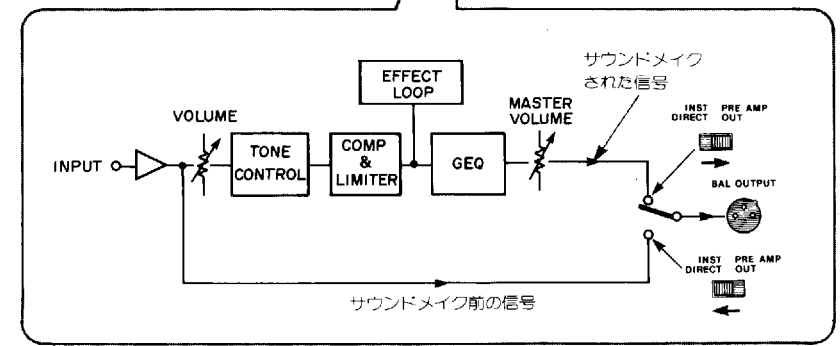
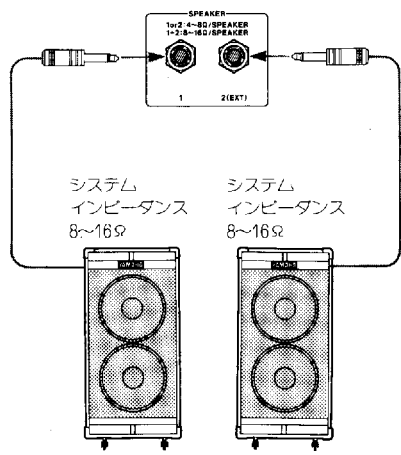
グラフィック  
イコライザー  
のON/OFF  
フットスイッチ  
VFC-2(別売)  
¥2,500(消費税含まず。)

・内部スピーカーに外部スピーカー  
を増設して鳴らす場合



VRベースアンプ  
の内蔵スピーカ  
ーへ接続してあ  
ります。

・外部スピーカーを2台を鳴らす場合



## ① ACアウトレット (AC OUTLET)

非連動式のACコンセントです。消費電力250W以下の機器に使えます。

## ② ヒューズ (FUSE)

アンプの保護用のヒューズです。ヒューズ交換の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、当社規定のもとと交換してください。交換してもすぐに切れてしまう場合には故障が考えられますので、お買い上げ店もしくは最寄りのヤマハサービスセンターにご相談ください。

## ③ グランド切り替えスイッチ (GROUND)

AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。ハムや雑音小さい側にスイッチを切り替えてお使いください。

## ④ スピーカーアウトジャック (SPEAKER 1, 2 (EXT))

SPEAKER 1と2ジャックはアンプ内部で並列に接続されていて、SPEAKER 1には内蔵スピーカー(8Ω)が接続されています。内蔵スピーカーに加えて外部スピーカーも同時に鳴らしたい場合は、2(EXT)ジャックに外部スピーカーを接続してください。この場合に接続することのできるスピーカーは、システムインピーダンスが8~16Ωで、本機の出力に充分対応できる許容出力を持ったものに限り。また、内蔵スピーカーをやめて外部スピーカー2台で鳴らしたい場合も同様に、接続することのできるスピーカーは、それぞれのジャックともシステムインピーダンスが8~16Ωで、本機の出力に充分対応できる許容出力を持ったものに限り。

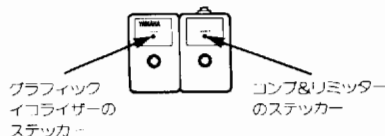
※誤った接続は、故障の原因となります。ご注意ください。

## フットコントロール (VR150Bのみ)

### ⑤ フットスイッチ用ジャック (FOOT SW.)

別売のフットスイッチVFC-2を接続すると、コントロールパネルのグラフィックイコライザーおよびコンプ&リミッターのON/OFFを足元で切り替えることができます。フットスイッチを接続している時は、コントロールパネル側のON/OFFスイッチは効きません。

VFC-2をVR150B専用のフットスイッチとしてご使用になる場合は、付属のステッカーをVFC-2のパネル面に貼ってお使いください。



## バランスアウト (BAL OUTPUT) (VR150Bのみ)

### ⑥ バランスアウト切り替えスイッチ (INST DIRECT/PRE AMP OUT)

バランスアウト端子から出力する信号を、目的に応じて切り替えます。

**INST DIRECT** : 入力ジャックへ接続したベースギターからの加工しない信号を出力します。(アンプの各ツマミの設定は関係しません。)

ライブなどでPAからもベース音を出したい場合に、PAミキサーで全体のサウンドとのバランスを調整して出すことができます。

また、レコーディングの時にアンプのスピーカーからの音とバランスアウトからの信号とをミックスするなどの使い方もできます。

**PRE AMP OUT** : コントロールパネルの各ツマミで設定された信号 (PRE AMP OUT) を出力します。

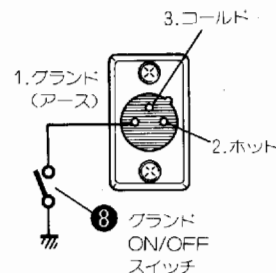
レコーディングの時に、アンプのスピーカーでモニターをしながら、サウンドメイクした信号をレコーディングコンソールへ送ることができます。

### ⑦ バランスアウト端子 (BAL OUTPUT)

PAミキサーやスタジオミキシングコンソールへダイレクトに信号を送り出すためのXLRタイプのバランスアウト(平衡型出力)端子です。

規定出力レベルおよび適合インピーダンスは、+4dB/600Ωです。本機では1番: グランド(アース)、2番: ホット、3番: コールドの接続形式を採用しています。

※④のスピーカーアウトとバランスアウトは、同時に出力することができます。



### ⑧ グランド ON/OFF スイッチ (GROUND)

バランスアウト端子⑦のアースライン(1番: グランド)をON/OFFするスイッチです。

通常はONで使用しますが、アースのループによりハムやノイズが発生した場合は、このスイッチをOFFにして使用してください。

## ● セッティングサンプル

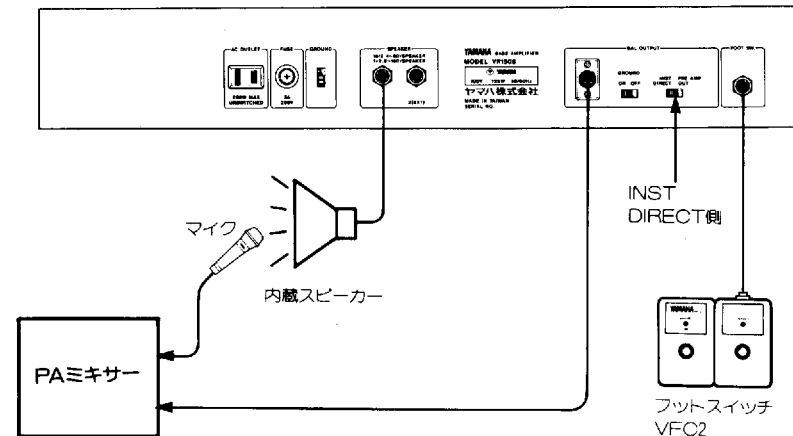
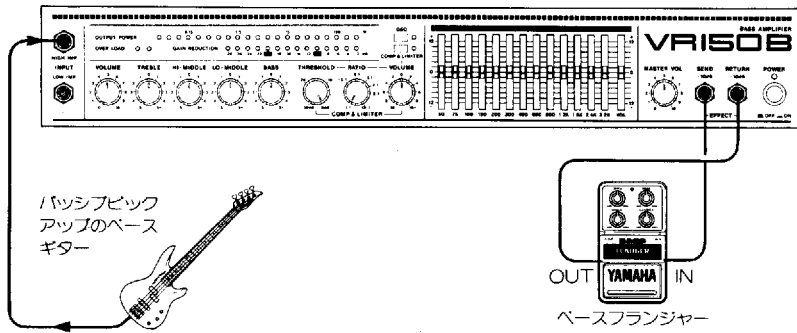
### EX.1) ライブ向けセッティング

使用ベースギター：パッシブピックアップのモデル

使用エフェクター：ベースフランジャー

アウトプット：BAL OUTPUT端子からINST DIRECT信号をPAミキサーへ送り、マイクで拾ったVRアンプのスピーカーからの音とミックスしてPAスピーカーから出す。

※COMP & LIMITERとGEQのON/OFFを、別売フットスイッチVFC-2で切り替える。



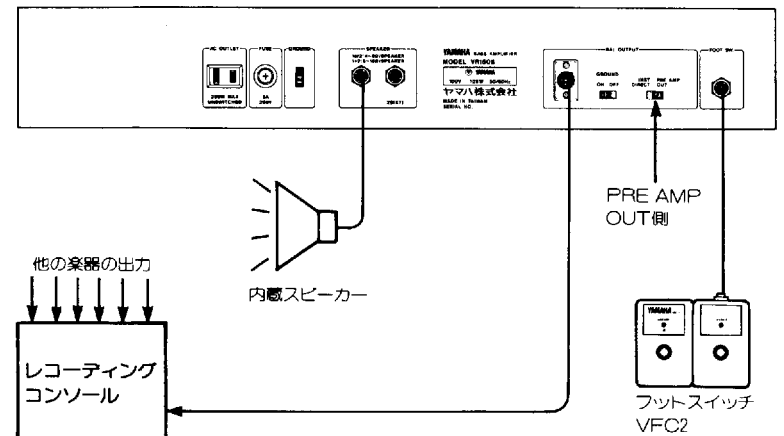
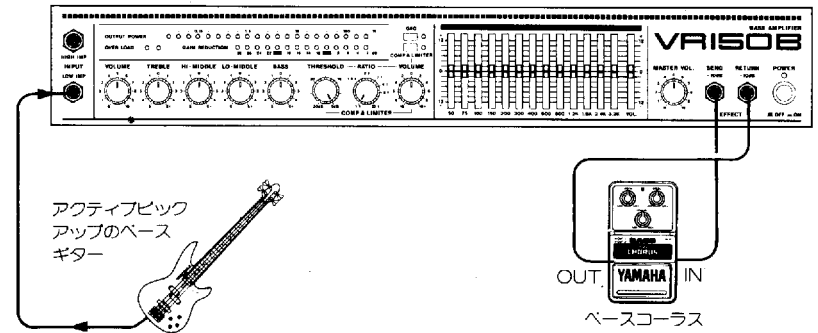
### EX.2) レコーディング向けセッティング

使用ベースギター：アクティブピックアップのモデル

使用エフェクター：ベースコーラス

アウトプット：BAL OUTPUT端子からPRE AMP OUT信号をミキシングコンソールへ送り、コンソール側でミキシングバランスを調整する。

※COMP & LIMITERとGEQのON/OFFを、別売フットスイッチVFC-2で切り替える。





## ●仕様

型名	VR75B	VR150B
定格出力(8Ω, T.H.D. 10%)	75Wr.m.s.	150Wr.m.s.
スピーカー	38cm×1(8Ω)	
エンクロージャー	バスレフタイプ	
入力感度/インピーダンス (1kHz)	VOLUME, MASTER VOL. 最大、TONE 全て中央、 GEQ, COMP & LIMIT スイッチ OFF で測定	
INPUT HIGH IMP	-21dB/1MΩ	-20dB/1MΩ
LOW IMP	-15dB/25kΩ	-14dB/25kΩ
出力レベル	定格出力の項参照	
SPEAKER 1, 2(EXT)	—————	+4dB/600Ω 負荷
BAL OUTPUT INST DIRECT	—————	+4dB/600Ω 負荷
PRE AMP OUT		
エフェクトループ		
EFFECT SEND	-10dB (10kΩ 負荷)	
RETURN	-10dB (47kΩ 入力インピーダンス)	
ノイズ (FLAT)	-55dB (MASTER VOL. 最小) -20dB (VOLUME, MASTER VOL., TONE 全て最大、 GEQ スイッチ ON、GEQ 全て最大、GEQ VOL. 中央、COMP & LIMIT スイッチ OFF)	
トーンコントロール		
TREBLE	5kHz 基準、±10dB 可変	
HI-MIDDLE	1.3kHz 中心、±12dB 可変	
LO-MIDDLE	350Hz 中心、±12dB 可変	
BASS	125Hz 基準、±12dB 可変	

型名	VR75B	VR150B
グラフィックイコライザー	7 Band GEQ ±12dB (50, 100, 200, 400, 800, 1.6k, 3.2kHz) GEQ OUTPUT VOLUME, ON/OFF スイッチ	13 Band GEQ ±12dB (50, 75, 100, 150, 200, 300, 400, 600, 800, 1.2k, 1.6k, 2.4k, 3.2kHz) GEQ OUTPUT VOLUME, ON/OFF スイッチ (別売 フットスイッチでも ON/OFF 可)
コンプ&リミッター レシオ設定範囲 スレッシュホールドレベル設定範囲 VOLUME 可変範囲 ゲインリダクション表示	/	
オーバーロード インジケータ	CLIP: REDのLEDが点灯 -8dB: YELLOWのLEDが点灯	
パワーインジケータ	LED GREEN×19ケ, RED×2ケ	
定格電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	55W	125W
寸法(W×H×D)*	605×797×388(mm)	655×907×388(mm)
重量*	43.0kg	58.0kg

(カートン表示)

49kg

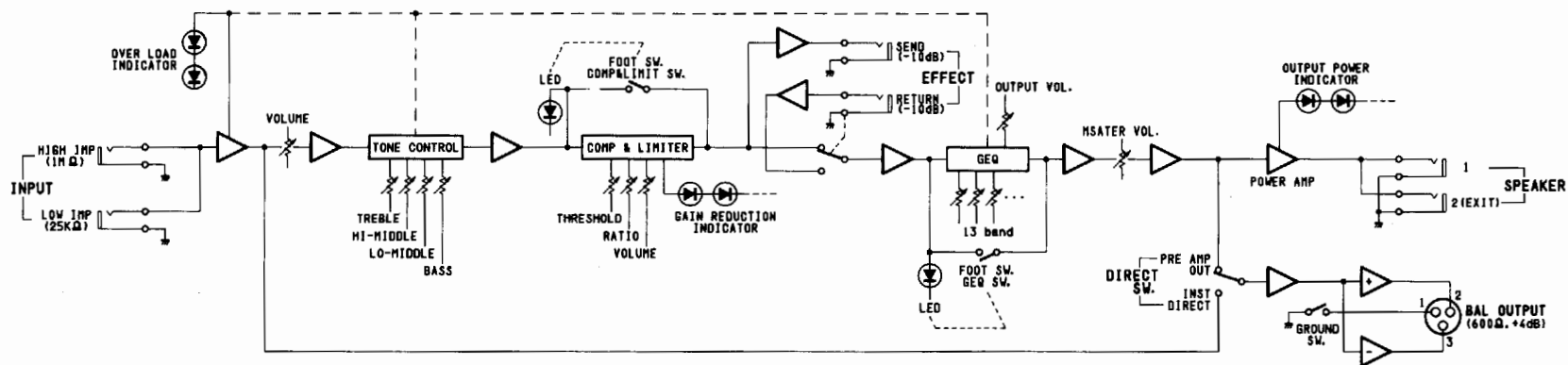
65kg

- キャスター含む
- 0dB=0.775Vr.m.s.

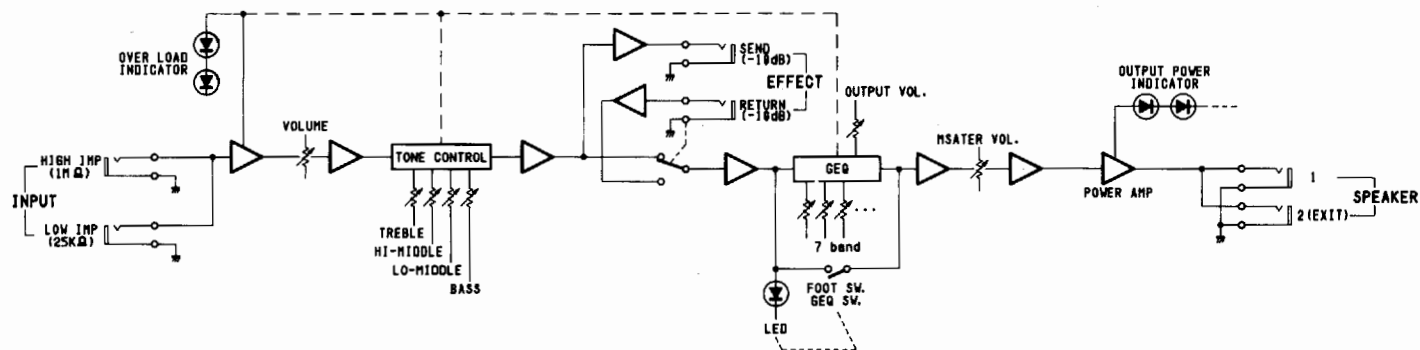
● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# ● ブロックダイアグラム

## ● VR150B



## ● VR75B



## ●サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で  
す。(現金、ローン、月賦などによる区別はございま  
せん)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

### ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お  
名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。  
無記名の場合は無効になりますので、くれぐ  
れもご注意ください。

### ●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに  
ご購入の日から向う1ヶ年間の無償サービスをお約束  
申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期  
間中であっても実費を頂戴させていただくことになり  
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ  
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。ま  
た、保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ  
さい。後々のサービスに際しての機種判別や、サー  
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

### ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店に  
ご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。こ  
の際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合に  
はサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買上げ  
店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あ  
るいは電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。  
移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げます  
と同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもつ  
て行なうよう手続き致します。

満1ヶ年間の保証期間を過ぎますとサービスは有料と  
なりますが、引き続き責任をもってサービスをさせて  
いただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最  
低8年となっています。(性能部品とは、その製品の機  
能を維持するために必要な部品のことです。)

そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマ  
ハサービス網までお問い合わせください。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預の窓口)

- 北海道電気サービスセンター 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50(ヤマハセンター)  
TEL (011) 781-3621
- 仙台電気サービスセンター 〒983 仙台市若林区旭町5-7(仙台音響共同配送センター3F)  
TEL (022) 236-0249
- 東京電気サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184  
TEL (044) 434-3100
- 新潟電気サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8(シビル(イーホールビル)2F)  
TEL (025) 243-4321
- 浜松電気サービスセンター 〒435 浜松市上西町911(ヤマハ(株)宮竹工場内)  
TEL (0534) 65-6711
- 名古屋電気サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ(株)豊田センター)  
TEL (052) 652-2230
- 大阪電気サービスセンター 〒565 吹田市新豊屋下1-16(千里丘センター内)  
TEL (06) 877-5282
- 京都電気サービスステーション 〒600 京都市下京区七条通西之町東入材木町48(東25ビル3F)  
TEL (075) 361-6470
- 神戸電気サービスステーション 〒650 神戸市中央区元町2-7-3(ヤマハ(株)神戸店内)  
TEL (078) 321-1195
- 広島電気サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ(株)高松店内)  
TEL (0878) 22-3045
- 広島電気サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39  
TEL (082) 874-3787
- 九州電気サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2134
- 本社  
電気サービス部 〒435 浜松市上西町911  
TEL (0534) 65-1158

## ヤマハ株式会社LM営業部

- ギター・ドラム営業課 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL (0534) 60-2431
- 首都圏営業課 〒104 東京都中央区銀座7-11-3(矢島ビル)  
TEL (03) 574-8592
- 関東営業課 〒104 東京都中央区銀座7-11-3(矢島ビル)  
TEL (03) 574-8592
- 大阪営業課 〒542 大阪府中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館)  
TEL (06) 252-5231
- 名古屋営業課 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL (052) 201-5199
- 九州営業課 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2130
- 札幌営業課 〒064 札幌市中央区南十条西1-1(ヤマハセンター)  
TEL (011) 512-6113
- 仙台営業課 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10  
TEL (022) 222-6146
- 広島営業課 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18(ヤマハビル)  
TEL (082) 244-3749

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**